

冷たくて気持ちいい！
プール大好き

『～南方幼稚園 プール遊び（7/12）』



AUGUST 2011

8

No. 151

主な内容

- ⇒ 東日本大震災発生から 4カ月
特集「登米市の再生と復興への歩み」
- ⇒ 春の叙勲・褒章
- ⇒ 登米市の夏祭り
- ⇒ 農業委員会委員一般選挙結果
- ⇒ 9町トピックス
- ⇒ 市民の広場
- ⇒ 市からのお知らせ・暮らしの情報

約440力所のうち約100力所の災害査定が終了し、現在は、残る約340力所の災害査定の準備と、災害査定が終了した個所から入札に向けた実施設計を行つており、順次本復旧工事を行う予定となつています。

災害査定は、毎週行われていますが、約440力所を越える被災個所があるため、終了までは、相当数の時間が必要となつています。災害査定の終了時期は、現時点では確定していませんが、年内中の終了が見込まれています。

なお、橋りょうなどの被災した施設については、被災状況について専門の業者による調査が行われています。

ご理解とご協力を
査定後は順次巡回へ
現在、認定市道については
国庫負担法に基づき災害査定
(被害事実の確認行為)が毎週
行われています。

**市民が安心して暮らせる
町づくりを目指して**

登米市の復興への取り組み

6月13日から通常の学校給食を提供

東日本大震災の影響で、学校給食センターなどに大きな被害が発生したことに加え、食材納入業者などの被災により食材調達が困難になつたため、震災後市内の給食は、パンと牛乳を中心とした簡易給食が提供されていました。

市では学校給食の一日も早い復旧を目指し、流通の回復などに伴い、品目の追加や米飯の提供などを順次行つてきましたが、食材の流通回復と、稼働できる市内9カ所の給食センターで被災した施設分を調理することにより、震災発生から3カ月を経て、6月13日からおかげのついた通常の

登米市に寄せられた全国からの義援金

義援金は、日本赤十字社などの義援金受付団体や宮城県登米市に寄せられたものを、それぞれの災害義援金配分委員会で配分対象者や基準などについて審議、決定し配分するもので、現在、義援金受付団体や宮城県、登米市の1次・2次配分を合わせ、死亡・行方不明者1人、住宅全壊1戸当たり110万円、住宅大規模半壊1戸当たり80万円、住宅半壊1戸当たり55万円などが配分されています。

市では7月15日から2次配分の振り込みを行つていますが、既に申請がお済みの人にはご理解とご協力を願います。

つゝては、の次記分の申請は
ま六、その結果こつゝて、

「東日本大震災」発生から4ヶ月

登米市の 再生と復興への歩み

3月11日に発生し、東北各地に多くの爪痕を残した「東日本大震災」から4カ月余りがたちました。徐々に落ちつきを取り戻しつつありますが甚大な被害を受けた沿岸部の避難者の多くは現在も市内の避難所や仮設住宅で暮らしています。もとどおりの生活が送れるようになるまでにはまだまだ時間が必要です。市では、一日も早い市民生活の再建のためさまざまな支援や復興対策に取り組んでいます。

今月の特集では、震災発生から4カ月目を迎えた登米市のように、復興への取り組みについて紹介します。



市職員による市内各施設の放射線量の測定【7月12日 南方幼稚園】

— INTERVIEW インタビュー —



みつる
岩渕 満さん
(石越町 第十二)

■低温の影響出たが順調に回復し出芽

暖房器具の燃料不足には大変困りましたが、その後は順調に生育し、多少収穫量や果形に影響が出たものの、無事出荷することができました。また、最近気になるのは農産物への放射能の影響です。農産物の一生産者として、東北の農業を守るためにも国による素早い対応が取られることを望んでいます。

登米市メール配信サービス

【登録用URL・メールアドレス】

- <http://tomecity.mail-dpt.jp/>
(パソコン用)
- tome@entry.mail-dpt.jp (携帯用)

上記仮登録用アドレスを入力し、空メールを送信してください。その後、仮登録完了メールが送信されますので案内にしたがって本登録してください。



測定値をメール配信しています

A black and white portrait of Takanobu Hisamatsu, the mayor of Tomi City. He is a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit jacket over a white shirt. The portrait is set against a plain, light-colored background.

登米市長
布施 孝尚

大震災4カ月を経過して～復興へ向けて共に進む～

東日本大震災が、わたしたちの心に残した大きな傷跡は、4ヶ月を過ぎた今も癒えることなく、市内における復旧にも時間を要する現状にあります。

さらに、東京電力福島第一原子力発電所の事故が、さまざまな形で生活や健康そして農業などの産業にも大きな影響を与えており、大変危惧するところです。

しかし、どのような状況に置かれても、先人の方々が築き上げて来られた登米市を次の世代に引き継ぐため、わたしたちは前進して行かなければなりません。

わたしは、市民の皆さまと共にこの難局にしっかりと向き合い、来年9月を目指してまいります。

途に「登米市震災復興計画」を策定し、一日も早い市民生活の再建を目指して生活基盤である産業の振興と公共施設の復旧、施設再編を図るとともに、持続的に発展していくことができる安全・安心なまちづくりに取り組んでまいります。

また、これまで本市は、巨大津波により甚大な被害を受けた沿岸部の市や町への支援を行ってまいりました。隣接する南三陸町では、応急仮設住宅の整備など、復興に向け着実に取り組まれていることをお聞きしており、隣接市として今後も出来る限りの支援を行ってまいります。

平成23年8月1日 登米市長 布施 孝尚

手を取り合い被災地の一 日も早い復興に向けて

**生活再建に向か
仮設住宅用地を提供**

震災で自宅を失った人たちのため、市では仮設住宅の建設用地が不足している南三陸町の被災者向けに土地を提供し、現在、津山町横山住宅団地に81戸、イオン南方跡地に200戸が完成しています。

また、そのほかにも現在、横山幼稚園跡地24戸、津山若者体育館敷地30戸、イオン南方跡地150戸が建設中となっています。

また、そのほかにも現在、横山幼稚園跡地24戸、津山若者体育館敷地30戸、イオン南方跡地150戸が建設中となっています。

子どもたちの教育環境を整備

市では、被災地の児童生徒へ、平等に教育を受けられる環境を作り、サポートするため、津波で被害を受けた戸倉



完成が待たれる仮設住宅

小・中学校へ教育施設として旧善王寺小学校を提供しているほか、学校給食の提供などを支援しています。

また、沿岸被災地から20人を越える児童生徒が、市内の各学校などに転校・編入し、地元の子どもたちと共に学んでいます。

行政機能の復旧のため市職員を派遣

市では、震災による被害から南三陸町の行政機能の復旧、復興を図るため、6月1日から市職員を派遣しています。

この職員派遣は、今回の震災で職員約40人が死亡または行方不明となつており、町役場機能の回復が急がれる南三陸町からの要請に基づき、主幹級2人を派遣したものです。

派遣された職員が担当するのは、町民への弔慰金や義援金の支給事務、災害救助法に基づく各種事務作業など、南三陸町が必要としている分野を担当します。

また、市では5月に締結された災害応援協定に基づき、兵庫県阪神支援チームから南三陸町へ長期派遣されている職員が使用する宿舎の提供も行っています。

四ヶ月が経過して大震災から

昭和43年午後2時46分、後に千年に一度と言われる未曾有の大震災による巨大津波によって、私たちの町が、私たちの日常生活が、一瞬にして失われてしまいました。この大震災により、500人が超える町民の方々が犠牲になりました。未だ安否が不明な方も600人以上に上つております。

発災以来これまで、登米市の皆様におかれましては、住む家を失つた本町の町民の集団避難先の提供や給水車による給水支援、さらには、応急仮設住宅用地の提供にいたるまで、ありとあらゆる面で最大限のご支援を賜つております。

平成23年8月1日
南三陸町長 佐藤 仁

メッセージ
今回の震災復興に対し、南三陸町佐藤仁町長から市民の皆さんに、メツセージが届きました。

現在、本町では、本年9月を目途として、「南三陸町震災復興計画」の策定に着手をいたしております。

この計画は、町を震災前の状態に戻すための単なる「復旧」計画ではなく、将来をしっかりと見据え、町を再構築するための「復興」実現計画にしなければならないと考えております。

本町の復興は、登米市の皆様をはじめとした近隣自治体の皆様との一層の連携なくして、その実現、達成はないものと考えております。どうか、登米市の皆様におかれましては、これまで同様、今後の本町の取組に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、私からのメツセージといいたします。



南三陸町 佐藤 仁 町長

特集 登米市の再生と復興への歩み

— INTERVIEW インタビュー —

菅原正彦さん
(南三陸町十日町)

■不安は尽きないが家族と共に前進を

■被災後、妻の実家に避難していましたが、4月22日に、家族と共に迫ふるさと交流館にやつてきました。避難

してきてからは、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興に向けて、前進していくこう

と思っています。

この職員派遣は、今回の震災で職員約40人が死亡または行方不明となつており、町役場機能の回復が急がれる南三陸町からの要請に基づき、主幹級2人を派遣したものです。

派遣された職員が担当するのは、町民への弔慰金や義援金の支給事務、災害救助法に基づく各種事務作業など、南三陸町が必要としている分野を担当します。

また、市では5月に締結された災害応援協定に基づき、兵庫県阪神支援チームから南三陸町へ長期派遣されている職員が使用する宿舎の提供も行っています。

平成23年8月1日

南三陸町長 佐藤 仁

— INTERVIEW インタビュー —

菅原正彦さん
(南三陸町十日町)

■不安は尽きないが家族と共に前進を

■被災後、妻の実家に避難していましたが、4月22日に、家族と共に迫ふるさと交流館にやつてきました。避難

してきてからは、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。未だ安否が不明な方も600人以上に上つております。

発災以来これまで、登米市の皆様におかれましては、住む家を失つた本町の町民の集団避難先の提供や給水車による給水支援、さらには、応急仮設住宅用地の提供にいたるまで、ありとあらゆる面で最大限のご支援を賜つております。

平成23年8月1日

南三陸町長 佐藤 仁

— INTERVIEW インタビュー —

菅原正彦さん
(南三陸町十日町)

■不安は尽きないが家族と共に前進を

■被災後、妻の実家に避難していましたが、4月22日に、家族と共に迫ふるさと交流館にやつてきました。避難

してきてからは、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。未だ安否が不明な方も600人以上に上つております。

発災以来これまで、登米市の皆様におかれましては、住む家を失つた本町の町民の集団避難先の提供や給水車による給水支援、さらには、応急仮設住宅用地の提供にいたるまで、ありとあらゆる面で最大限のご支援を賜つております。

平成23年8月1日

南三陸町長 佐藤 仁

— INTERVIEW インタビュー —

菅原正彦さん
(南三陸町十日町)

■不安は尽きないが家族と共に前進を

■被災後、妻の実家に避難していましたが、4月22日に、家族と共に迫ふるさと交流館にやつてきました。避難

してきてからは、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。未だ安否が不明な方も600人以上に上つております。

発災以来これまで、登米市の皆様におかれましては、住む家を失つた本町の町民の集団避難先の提供や給水車による給水支援、さらには、応急仮設住宅用地の提供にいたるまで、ありとあらゆる面で最大限のご支援を賜つております。

平成23年8月1日

南三陸町長 佐藤 仁

— INTERVIEW インタビュー —

菅原正彦さん
(南三陸町十日町)

■不安は尽きないが家族と共に前進を

■被災後、妻の実家に避難していましたが、4月22日に、家族と共に迫ふるさと交流館にやつてきました。避難

してきてからは、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。未だ安否が不明な方も600人以上に上つております。

発災以来これまで、登米市の皆様におかれましては、住む家を失つた本町の町民の集団避難先の提供や給水車による給水支援、さらには、応急仮設住宅用地の提供にいたるまで、ありとあらゆる面で最大限のご支援を賜つております。

平成23年8月1日

南三陸町長 佐藤 仁

— INTERVIEW インタビュー —

菅原正彦さん
(南三陸町十日町)

■不安は尽きないが家族と共に前進を

■被災後、妻の実家に避難していましたが、4月22日に、家族と共に迫ふるさと交流館にやつてきました。避難

してきてからは、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。未だ安否が不明な方も600人以上に上つております。

発災以来これまで、登米市の皆様におかれましては、住む家を失つた本町の町民の集団避難先の提供や給水車による給水支援、さらには、応急仮設住宅用地の提供にいたるまで、ありとあらゆる面で最大限のご支援を賜つております。

平成23年8月1日

南三陸町長 佐藤 仁

— INTERVIEW インタビュー —

菅原正彦さん
(南三陸町十日町)

■不安は尽きないが家族と共に前進を

■被災後、妻の実家に避難していましたが、4月22日に、家族と共に迫ふるさと交流館にやつてきました。避難

してきてからは、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。未だ安否が不明な方も600人以上に上つております。

発災以来これまで、登米市の皆様におかれましては、住む家を失つた本町の町民の集団避難先の提供や給水車による給水支援、さらには、応急仮設住宅用地の提供にいたるまで、ありとあらゆる面で最大限のご支援を賜つております。

平成23年8月1日

南三陸町長 佐藤 仁

— INTERVIEW インタビュー —

菅原正彦さん
(南三陸町十日町)

■不安は尽きないが家族と共に前進を

■被災後、妻の実家に避難していましたが、4月22日に、家族と共に迫ふるさと交流館にやつてきました。避難

してきてからは、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。これから先のことに関しては見通しが立たず、さまざま仕事と南方地区の仮設住宅への入居が決まつたので、今後も家族で協力し、一歩一歩復興を受けた戸倉

してきてから、市やボランティアの協力をいただきながら入所者皆で協力し、生活してきました。未だ安否が不明な方も600人以上に上つております。

発災以来これまで、登米市の皆様におかれましては、住む家を失つた本町の町民の集団避難先の提供や給水車による給水支援、さらには、応急仮設住宅用地の提供にいたるまで、ありとあらゆる面で最大限のご支援を賜つております。

平成23年8月1日



ご存知ですか？児童扶養手当・特別児童扶養手当

■児童扶養手当・特別児童扶養手当とは？

- ◎児童扶養手当 父親や母親のいない児童や、または両親のいない児童を監護・養育している人に支給される手当てです。
- ◎特別児童扶養手当 心身に一定以上の障がいを持つ児童を監護・養育している父母亲などに支給される手当てです。

□児童扶養手当支給対象児童の要件

- ① 父母が婚姻を解消した児童 ② 父または母が死亡した児童
- ③ 父または母が政令別表第2に定める程度の障害がある児童
- ④ 父または母の生死が明らかでない児童
- ⑤ 父または母が引き続き1年以上遺棄している児童
- ⑥ 父または母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ⑦ 母が婚姻によらないで懐胎した児童
- ⑧ 母が婚姻によらないで懐胎した児童であるか不明な児童

※上記に該当しても児童（社会）福祉施設などに入所している場合や公的年金などを受給できる場合は、支給の対象にはなりません。

◆手当月額

【児童扶養手当】

児童1人の場合、41,550円

児童2人目以上の加算額【2人目】5,000円

【3人目以降】1人につき3,000円

【特別児童扶養手当】障害の程度により、【1級】50,500円

【2級】33,670円

※手当では、受給者や同居している扶養義務者の所得により、一部支給や支給停止になる場合があります。

■8月は現況届・所得状況届の時期です

児童扶養手当と特別児童扶養手当の受給者は、「児童扶養手当現況届」（8月1～31日まで）「特別児童扶養手当所得状況届」（8月11日～9月10日まで）を提出しなければなりません。届け出をしないと、手当が差し止められたり、受給資格がなくなったりする場合もあります。

対象となる人には、個別に案内をしますので、受付日時などを確認して期間内に提出してください。

■児童扶養手当が一部減額されます

平成20年4月以降の児童扶養手当が、受給開始後5年などを経過した場合は、支給額が現在受給中の額の2分の1に減額されます。

※8歳未満の対象児童がいる場合は、8歳の誕生日の前月まで猶予されます。

ただし、下記の「減額対象から除かれる人」に該当する場合は、届出をすることによって継続して手当を受けすることができます。減額対象に該当している人には、福祉事務所から届け出の詳細について通知を送付します。

□減額対象から除かれる人

- ① すでに就業している受給者
- ② 現在、求職活動をしている受給者
- ③ 一定以上の障害を持っているため、就業が困難な受給者
- ④ 負傷や病気によって、就業が困難な受給者
- ⑤ 受給者が監護する児童や親族が、障害や病気、要介護など

の状態にあり、介護のため就業が困難な受給者

◆減額（現支給額の2分の1）対象になる人

- ① 現在就業していない人で、就業が困難な要因がなく、求職活動を行っていない人
- ② 期日まで届出を提出しない人

■母子家庭の自立支援事業

市では平成22年度から、母子家庭の母親を対象に、ホームヘルパーや医療事務などの講座受講費用の一部支給などを実施しています。また県でもホームヘルパーやパソコンの講習会の開催、就学資金の貸付などを実施しています。

支援を希望する際は、事前の相談や確認が必要ですので、事前に下記まで問い合わせください。

事業区分	支援内容	問い合わせ先
就業支援講習会	ホームヘルパーやパソコン講習会の開催など	県母子家庭等就業・自立支援センター ☎022 (295) 0013
自立支援教育訓練給付金	ホームヘルパーや医療事務などの対象講座を受講する場合の費用の一部支給など	福祉事務所子育て支援課 児童福祉係 ☎0220 (58) 5562
母子福祉資金貸付金	就学資金の貸付など	東部保健福祉事務所登米地域事務所 ☎0220 (22) 6118

【問い合わせ】 福祉事務所子育て支援課 児童福祉係 ☎0220 (58) 5562

夏本番。古くから伝わる伝統的な祭りや地域の特色を生かした祭りなど、登米市の熱い夏をにぎやかに彩るイベントの数々。

見るもよし！参加するもよし！今年の夏も感動の名場面を心と体に刻みに出掛けてみませんか？

趣向を凝らした催し物が、皆さんのが来場を待っています。

①② 【写真は伊豆沼・内沼はすまつり】



感動の名場面、今年も再び。

2011 登米市

夏祭り



8月	イベント名	イベント内容	地区	会場	問い合わせ
上旬～下旬	①長沼はすまつり (8:30～16:30)	長沼に群生するはすの花を、船上から間近に見ることができます。 沼一面いっぱいに咲き乱れるはすの花に癒されながらの遊覧をお楽しみください。	迫	長沼兵糧山公園	登米市観光物産協会 ☎0220 (52) 4648
1日(月)～下旬	②伊豆沼・内沼はすまつり (9:00～16:30)	ラムサール条約指定登録湿地に群生するはすの花を、遊覧船から間近に見ることができます。 沼一面に咲き乱れるはすの花は光り輝き、その様は極楽浄土を想われます。	迫	伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター	産業経済部商工観光課 ☎0220 (34) 2734 伊豆沼漁業協同組合 ☎0228 (33) 2176
6日(土)	③とよま明治村 夏まつり (13:00～21:00)	野外映画上映会やお笑いライブなどのステージイベントのほか、お祭り屋台など、楽しいイベントが盛りだくさん。 夏の夜を家族みんなで楽しみましょう。	登米	登米公民館駐車場	みやぎ北上商工会登米支所 ☎0220 (52) 2259
7日(日)	④2011YOSAKOI&ねぶたinとよまとよさと (11:00～20:00)	全国各地よりよさこいの踊り手が参加する乱舞と旗の競演は圧巻です。 夜は、地域の子供会や町内会が工夫を凝らした「ねぶた」が町内を豪快に練り歩きます。	豊里	JR陸前豊里駅前	豊里総合支所 ☎0225 (76) 4111

※今年度の「ふるさと花火IN長沼」および「2011もっこり牛まつり」は中止となりました。

看護師を目指す皆さんをサポート

登米市看護師奨学金制度

市では、将来の市立病院を担う看護師を育成するため、この度「奨学金制度」を創設しました。看護師の充実や確保を図るため、看護師養成施設に在学している人、入学が確定している人で市立の病院（診療所や老人保健施設を含む）に勤務する意志のある人に対し、奨学資金を貸し付けします。

【貸付対象者】 将来看護師として市立の病院（診療所や老人保健施設を含む）に従事しようとする、看護師養成施設に在学する学生

【募集人員】 7人程度

【貸付金額】 看護師奨学金 月額5万円

修学一時金 20万円（入学時における入学金および施設納付金相当額：償還必要）

【貸付期間】 貸付決定の月から、看護師養成施設を卒業する月まで ※看護師養成施設の修学年数を限度とします。

【貸付開始時期】 奨学生として貸付決定した月から（今年度に限り6月分から対象）

【償還の免除】 看護師養成施設を卒業後2年以内に看護師の国家資格を取得し、直ちに市立の病院（診療所や老人保健施設を含む）に採用された後、採用された日の翌月から起算して奨学金の貸し付けを受けた期間に相当する年数を看護師として業務に従事したとき。

【一括返還】 退学など貸付目的を達成する見込みがなくなったときは、一括返還していただく場合があります。

【連帯保証人】 2人（1人は家族で可、もう1人は別生計で独立生計者）

【応募書類】 以下の書類を郵送または持参してください。

（様式はホームページからダウンロードできます）

①貸付申請書 ②在学証明書 ③戸籍抄本

④在学する看護師養成施設の学長または学部長などの推薦調書

⑤その他市長が必要と認める書類（看護師奨学金等貸付応募理由書、履歴書）

【申込受付期間】 7月20日（水）～8月19日（金）※郵送の場合は当日消印有効

※面接日は8月28日（日）を予定、詳しい日時および会場は別途連絡します。

【問い合わせ】 市医療局経営管理部企画総務課 ☎ 0220 (21) 6888

【受講料】 無料

（講座で使用する教材

【参加対象】 市内に居住している20代から50代の女性20人（基本6回の講座を連続して受講できる人）

役立つスキルを身に付けるチャンス！

シリーズ 男女共同参画② ～男と女がともに輝くまちづくり～ 楽しみながら学びませんか ～連続講座を9月から開催します～

このシリーズでは、市民の皆さんに男女共同参画社会について理解を深めてもらうため、市の推進事業の様子や各団体の活動状況などを紹介します。

【自分力UP講座】「O H ! TOME (おとめ) カフェ」

開催日時	開催講座	講座内容
9月10日	「野外活動・枝豆収穫体験」	農業体験・ミニ講話
10月1日	「何か変だよ！子育てママの役割？」	ジェンダー基礎講座
10月29日	「なりたい自分になろう」	キャリアカウンセラー講話
11月中旬	「世界の中心でアイを叫ぼう」	IT活用講座
12月上旬	「避難所支援から見えたもの」	意見交換会
12月中旬	「そばうち＆トーンチャイム」	作業・演奏体験

【問い合わせ】

8月26日（金）郵送の場合
は当日消印有効

【申込方法】

電話または任意の用紙に①
住所②氏名③電話番号④託
児の有無を記入の上、郵送
ルのいずれかでお申込みく
ださい。（などは実費負担）



「学びたい」という意欲をもつ学生を応援

登米市奨学生を募集します

市では平成24年4月以降に進学・進級する希望者に対し、一層の向学心向上を奨励し、就学環境を整備することなどを目的に、奨学金を貸し付けします。

市育英資金・浅野兄妹奨学資金

【校種】 国内の高等学校、専門学校、高等専門学校、短期大学、大学（大学院を除く）

【貸付月額】

区分	高校生	専門学校生、高等専門学校生、短大生、大学生	4年以内
自宅通学	1万円以内	4万円以内	高等学校専門学校生 大学
自宅通学以外	3万円以内	5万円以内	高等専門学校
			短大

【貸付期間】

上杉奨学金

【校種】 大学

【貸付年額】 50万円以内

【貸付期間】

医学部、獣医学部以外	4年以内
医学部、獣医学部	6年以内

【保証人】 1人

【貸付方法】 年1回以内、奨学生本人の預金口座（漁協を除く）に振り込みます。

【償還方法】 無利子、据置き3ヶ月、10年内均等償還年賦、半年賦、月賦の中から選択、本人口座から引き落とし。

【応募資格】 経済的な理由によって進学に支障をきたしている人。（社会人でも可）

◆共通事項

【募集人数】 両奨学金とも予算の範囲内

【募集期間】 8月1日（月）～9月30日（金）

【奨学資金の貸与および償還】

◇市育英資金および浅野兄妹奨学資金と上杉奨学金の重複応募はできません。

◇卒業、進学先、就職先を条件とした償還免除制度はありません。

◇不登校または奨学生として適当でないと認められたときは、奨学金は途中でも廃止し償還していただきます。

【選考方法】 奨学生選考委員会で審査し、市教育委員会で決定します。

【応募書類】

①奨学生願書（様式1号）

②学校長推薦書（様式2号）

③健康診断書（学校発行のものでも可）

④住民票謄本（家族全員分）

⑤納税証明書（保証人、連帯保証人）

⑥平成22年中の家族全員の所得が分かる書類

※住民税申告書（写）または確定申告書（写）
給与所得のみの場合は、源泉徴収票（写）

※①と②は市ホームページからダウンロードできます。

【申し込み・問い合わせ】

▶教育委員会教育総務課 ☎ 0220 (34) 2670

▶各教育委員会教育事務所



「市民の安全安心のため今後も尽力を」と述べる市長



水の力を弱め堤防決壊を防ぐ月の輪工法



堤防からの越流を防ぐ積み土のう工法

東日本大震災により河川の堤防が被災している現状に加え、これからのお水期に備え、市水防訓練が6月26日、市内消防団員など約280人が参加し市内3会場で実施されました。

訓練は、水防体制を強化することを目的に市内各地区の消防団が、東部地区（登米町中津山運動場）、北部地区（米山牛土手）、南部地区（米山（追町長沼多目的広場）の3会場に別れ、各団ごとに水防工法訓練を行いました。

訓練開始に先立ち、北部会場では対策本部長の市長が「本日の水防訓練は、震災での漏水量を軽減させる「月の輪工法」などの水防工法訓練のほか、東日本大震災による堤防の亀裂や沈下などの水防危険箇所の巡回調査が実施されました。各団は本番ながらの真剣な様子で日々鍛えた技術やチームワークを披露しました。

水害から市民を守る技術を習得

市内3会場で市水防訓練

つを述べました。

訓練では、各支團の團員が

堤防の越水を防ぐ「積み土のう工法」、漏水の圧力を弱めて漏水量を軽減させる「月の

輪工法」などの水防工法訓練

のほか、東日本大震災による

堤防の亀裂や沈下などの水防危険箇所の巡回調査が実施さ

れました。

各団は本番ながらの真剣

な様子で日々鍛えた技術や

チームワークを披露しました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

いさつでは、株式会社

表彰式では市長が「震

災の対応をはじめ、今後

も社会資本の整備に活躍

いただきたい」とあいさ

つ述べた後、平成22年

度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考され

た5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあ

登米市でのできごと
おしさせします！

▲参加者が手を取り合い、優雅なフラダンスで会場が一つに

市立米谷病院で「復興七夕コンサート」 星に鎮魂と復興を願う

七夕の伝行事と東日本大震災犠牲者の鎮魂と復興を目的に市立米谷病院で7月9日、「復興七夕コンサート」が行われ、患者や地域住民など多くの人が参加しました。コンサートは、病院職員による「七夕さま」の合唱で始まり、小学生による舞踊の披露、市内を拠点に活躍しているアマチュアバンドの皆さんによるステージ演奏が行われました。また、コンサートの最後には、参加者全員で「上に向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」を合唱し、会場からは温かい拍手が送られました。



▲病院職員による「七夕さま」の合唱でコンサートがスタート



▲本場弘前のねぶた絵師から、ねぶた絵の技法について学びました。

豊里で「ねぶた絵製作講習会」 ねぶた絵の技術を学ぶ

登米みなみ商工会青年部主催の「ねぶた絵製作講習会」が7月3日、豊里公民館において行われ、豊里地域各町内会・子ども会、YOSAKOI&ねぶたinとよさと実行委員約20人が参加しました。講習会には本場青森弘前ねぶたの絵師を講師に招き、弘前ねぶたの由来や歴史についてお話しをいただいた後、講師の指導を受けて子供用ねぶたと称されている金魚ねぶたや、参考下絵を元にねぶたの基本となる扇ねぶたを親子で製作したり、それぞれのイメージで描いたりしました。

南方で「あいさつ運動」 朝は元気なあいさつから

「社会を明るくする運動強調月間」にあわせて、青少年のための登米市民会議南方支部が、6月13日から7月11日までの約1カ月間に渡り、南方・東郷・西郷小学校の各校門前においてあいさつ運動を実施しました。この運動は、地域の子供たちが明るく健やかに心身ともにたくましく成長することを願い実施されたもので、参加した南方地区小学生児童の約500人は毎日「あいさつ運動チェックカード」にその日あいさつができたかをチェックするなど、元気なあいさつを心掛けていました。



▲各小学校の校門前では、児童の元気なあいさつが響いていました



▲指導員から、海洋性スポーツの楽しさと怖さについて学ぶクラブ員

米山公民館で「元気はつらつ教室」 自分の体を知り元気になろう

米山公民館で行っている西野先人大学の第2回学習会「元気はつらつ教室」が7月12日、米山農村環境改善センターで開催されました。教室は、市と尚絅学院大学、東北文化学園大学が共催して行われたもので、43人の学級生が参加し、高齢期の低栄養予防を目的に体力測定やアンケート調査を行いました。西野先人大学では、年度末にも同様の教室開催を予定していて、測定した結果を比較し、自分の健康状態を確認できる大変良い教室となりました。



▲体力測定やアンケート調査で、普段の生活や食生活をチェック

トピックス
ふらす

6/26

歌い継ぐ温かく優しい童謡

童謡を歌い次世代に伝える活動をしている「はさま童謡を歌う会」の設立20周年記念コンサート「あしたへつなぐ心の童謡」が6月26日、登米祝祭劇場で開催されました。コンサートは2部構成で行われ、同会による美しい歌声のほか、佐沼保育所の園児による合唱、会場全員での合唱などが行われ、童謡に温かい詩と優しい歌声を楽しみました。



7/1

明るいまちを築くために

社会を明るくする運動の法務大臣からのメッセージ伝達式が7月1日、迫庁舎で実施されました。この運動は、犯罪や非行の防止と更生について理解を深め、明るい社会を築こうとする全国的な運動です。メッセージ伝達には、登米南三陸保護司会の柴田会長ら3人が出席。柴田会長が法務大臣からのメッセージを朗読し、市長に手渡しました。

7/12

ASIMOが夢と希望を子どもたちへ

被災地の子どもたちに夢を持って創造することの大切さを伝えようと、ホンダが開発した二足歩行ロボット「ASIMO」を使った特別授業が7月12日、善王寺コミュニティセンターで開催されました。特別授業には南三陸町立戸倉小・中学校の児童生徒約130人が参加し、ASIMOのバランスの取れた動きに、児童は歓声を上げていました。



7/16

エヴァンゲリオンの世界を紹介

石ノ森章太郎ふるさと記念館で7月16日から第38回特別企画展「エヴァンゲリオン展」が開催されています。今回の特別企画展では、「エヴァンゲリオンの世界」をテーマに普段目に触れることがない企画書やキャラクターのレプリカなど貴重な資料が展示されています。どなたでも楽しめる企画展となっていますので、ぜひご家族でご来館ください。

中田で「さなぶり祭り」
日ごろの練習の成果を披露

田植えの終了に感謝し、豊作を祈願する平成23年度さなぶり祭り（中田文化協会主催）が6月26日、中田農村環境改善センターで開催されました。今回の祭りは、被災された皆さんに元気を伝えようと「がんばろう東北！！スクラム組んで 歩もう明日へ」をスローガンに開催され、子供たちの力強い太鼓で祭りがスタート。民謡、舞踊、神楽などの演目や、地元チームのよさこいが披露されました。各演目とも素晴らしい出来栄えで、会場に集まった約300人の観客からは、大きな拍手が送られました。



▲微笑ましくかわいらしい踊りに、大きな拍手が送られました。

津山グランドゴルフ競技選手選考会
ホールポストを狙って！

▲ホールポストに狙いを定め、慎重に一打を放つ選手

登米どんぐりの家で「ジャガイモ掘り体験」
青空の下大地の恵みを収穫

登米障害者地域活動支援センター「どんぐりの家」で7月6日、ジャガイモ掘り体験が行われました。地域交流活動の一環として寺池上町地区にある畠で行われたジャガイモ掘りには、センターの通所者や職員など8人が参加。地元の人のご好意で、約3aの畠の一角に栽培されたキタアカリとメークインのジャガイモを約6kgを収穫しました。普段はセンターで布の裁断や電気部品の組み立てなどの作業をしている皆さんは、澄み切った青空のもと、屋外の作業を楽しみながら行いました。



▲収穫後には、カレーライスやおやつとして旬の味を堪能しました



県登米保健福祉事務所 (保健所) 健康相談など

プライバシーは守られますので、安心してご相談ください。

【8月の相談日】

	アルコール 家族教室	引きこもり 相談	精神保健 福祉相談
日時	9日（火） 午後1時30分 午後3時30分	26日（金） 午後1時30分 午後4時30分	26日（金） 午後1時30分 午後3時30分
場所	3階会議室	3階会議室	1階 クリニック室

【相談料】 無料

【会場】 県東部保健福祉事務所登米地域事務所

【注意事項】 必ず予約が必要です。
日程など変更する場合もありますので、予約の際に確認してください。

【その他】 保健師による相談も随時受け付けています。

【予約先・問い合わせ】

県東部保健福祉事務所登米地域事務所 母子・障害班
☎ 0220 (22) 6118

年金相談所開設

年金の申請手続き、支払内容、加入状況など、年金に関する相談に応じます。

【8月の開設日】 8月25日（木）

【時間】 午前9時10分～正午
午後1時～3時30分

【場所】 追庁舎1階会議室

【問い合わせ】 古川年金事務所

☎ 0229 (23) 1204

8月の パソコン相談室

❖パソコン教室

①ワードで地図入りの案内状を作つてみませんか。

【日時】

8月9日（火） 午前10時～正午
8月12日（金） 午後7時～9時

②エクセルで家族の予定表を作つてみませんか。

【日時】

8月16日（火） 午前10時～正午
8月19日（金） 午後7時～9時

①②共通事項

【場所】 迫にぎわいセンター

【受講料】 2,000円

【申込方法】 電話

【申込期限】 受講日前日まで

❖有料相談室

今更家族や同僚に聞けないことに何度でもやさしくお答えします。

【日時】

毎週日曜日

午前10時～正午

午後1時30分～3時30分

【会場】 迫にぎわいセンター

【相談料】 1時間=1,250円

【申込期限】 開催日の前日まで

❖無料相談室

今更家族に聞けないパソコンの操作方法を何度でもやさしくお答えします。

【日時】 8月21日（日）

午前10時～正午

【場所】 迫にぎわいセンター

【申込期限】 5日前まで

❖出前相談室

あなたの自宅にパソコンを持参し、今更家族や同僚に頼めない相談に応じます。女性スタッフも多数います。

【料金】

1コース（4時間）

=5,000円

【申し込み・問い合わせ】

NPO法人パソコン・ネット・みやぎ

☎ 0220 (21) 5262

女性医師による 女性の健康相談

女性医師が、思春期や更年期の身体的・精神的不調、家庭や職場でのストレス等で悩んでいる女性の相談に応じます。相談は無料で予約制です。

【相談日】

8月20日（土）

【場所】 栗原市

※会場は予約時にお知らせします。

【予約先・問い合わせ】

県女医会女性の健康相談室
(受付時間：土曜・日曜・祝日を除く午前9時～午後5時)

☎ 090 (5840) 1993

県健康推進課

☎ 022 (211) 2623

みやぎ北若者サポートステーション からのお知らせ

就労・自立に関する悩みや不安を抱えている若者と保護者を対象とした総合相談窓口です。

また、高校生を対象としたアウトリーチ事業（訪問相談）も実施しています。

詳しくは問い合わせください。

【日時】

月曜～金曜日

午前10時～午後5時

※土曜日はイベント・プログラム

【場所】 古川駅前ふるさとプラザ1階

【費用】 無料

※プログラムについては一部有料

【問い合わせ】 みやぎ北若者サポートステーション

☎ 0229 (21) 7022

○出前相談会

【日時】

8月11日（木）

午前10時～午後4時30分

【場所】 登米合同庁舎（保健所棟）

【申込方法】 開催日の前日の午後5時までに下記問い合わせ先に電話で申し込みください。

【費用】 無料

【問い合わせ】 みやぎ北若者サポートステーション

☎ 0229 (21) 7022

《受付時間》 月曜～土曜日

午前10時～午後5時

免許センターからの お知らせ

○8月までの毎週日曜日は、すべての運転免許センターで更新窓口を開設しています。

8月は、大変な混雑が予想されますので、なるべく早い時期に更新していただくようお願いします。

震災に伴う更新期間延長の適用を受けている人は、9月になると免許を更新する事ができませんのでご注意ください。

【問い合わせ】

►古川運転免許センター

☎ 0229 (22) 8011

►石巻運転免許センター

☎ 0225 (83) 6211

《受付時間》 ※8月まで

暮らしにひとつ工夫で節電



■家電製品の使い方

- ・エアコンはフィルターを定期的（2週間に1回程度）に掃除しましょう。
- ・エアコンの室外機の周囲には物を置かないようにして、放熱しやすくなってしましょう。
- ・エアコンの除湿運転や頻繁なオン・オフは消費電力の増加につながるので注意しましょう。
- ・冷蔵庫は壁面から放熱をしています。壁からすき間を空けて設置し、放熱しやすくなってしましょう。
- ・飲料など常温で保存できるものは必要な分だけ冷蔵庫で冷やしましょう。
- ・熱いものは冷ましてから冷蔵庫に入れましょう。
- ・リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切りましょう。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜きましょう。
- ・テレビは省エネモードに設定し、画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消しましょう。
- ・パソコンを使わないときは電源を切りましょう。

■使用時間を工夫しましょう

- ・洗濯はできるだけまとめて、洗濯機の利用回数を減らしましょう。
- ・炊飯器、掃除機、アイロン、ドライヤーなど、消費電力の大きい家電製品は9時前や20時以降に利用するよう心掛けましょう。

■暑さも工夫しだいで和らぎます

- ・レースのカーテンやすだれなどで、日差しをカットしましょう。
- ・打ち水も暑さを和らげるのに効果的です。
- ・植物を窓際に置けば日よけになるほか、打ち水と同様の効果が得られます。

【節電に関する問い合わせ】 東北電力コールセンター ☎ 0120 (175) 466

人も、会社も、元気にしよう！

中退共の退職金制度

「中退共」は国がサポートする中小企業のための退職金制度です。

詳しく述べホームページをご覧ください 中退共 検索 <http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL (03)3436-0151(代表)

安全 | 国の制度だから安心
掛金の一部を国が助成します。

有利 | 掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

簡単 | 社外積立て管理が簡単
退職金試算額などもお知らせ。

○パートタイマーさんも加入できます。

【問い合わせ】 登米祝祭劇場

☎ 0220 (22) 0111

◆第9回祝祭お祭り広場

【日時】 8月20日（土） 午後3時

【場所】 玄関前広場ほか

【入場料】 無料

【問い合わせ】 登米祝祭劇場

☎ 0220 (22) 0111

◆ふだん着コンサート

ビッグバンドフェスティバル

【日時】 8月28日（日）

午後1時30分

【場所】 大ホール

【入場料】 500円

高校生以下無料（要整理券）

【問い合わせ】 登米祝祭劇場

☎ 0220 (22) 0111



**5月18日までの
3歳児健診（3歳
6ヶ月～7ヶ月児）で
むし歯がなかった子
は、市内5地区で
38人中26人でした**

※（ ）内には申し出があった保護者の名前を掲載して
います。



節水にご協力を！

水道事業の7つの浄水施設や皆さんの家庭に水を送る増圧施設、配水池など、ほとんどの水道施設は電気で動いています。

水の使用が増加すると使用電力も増えることになりますので、水道施設節電のため節水にご協力をお願いします。

～家庭でできる節水方法～

- ①歯磨きは、水を流しながらではなく、コップを使用しましょう。
- ②食器を洗うときはため洗いをしましょう。
- ③シャワーもこまめに止めながら使用しましょう。
- ④お風呂の残り湯は、洗濯・掃除・散水などに利用しましょう。
- ⑤水洗トイレの大小を使い分けましょう。
- ⑥洗車は、ホースからの流し洗いではなく、バケツに汲んで洗いましょう。
- ⑦そのほかにもそれぞれのご家庭にあった節水方法を考えて上手に水を使いましょう。

【問い合わせ】

水道事業所水道管理課
☎ 0220 (52) 3313



国民年金だより

ご存知ですか？障害基礎年金

国民年金には、老後の保障だけではなく、突然の病気やけがで障がいが残ってしまったときに生活保障となる「障害基礎年金」があります。

国民年金の加入中に初診日がある病気やけがなどで障がいの状態になったとき、国民年金の障害等級が1級または2級の状態であり、一定の保険料納付要件を満たしている場合に支給されます。

20歳前（国民年金に加入する前）の病気やけがで障がい者になった場合は、20歳から受給できます。

◇次の条件を満たすことが必要です。

①障がいのもととなった病気やけがの初診日前日において、初診日の前々月までの被保険者期間のうち、保険料の納付済み期間と免除期間（若年者納付猶予期間・学生納付特例期間を含む）を合わせた期間が3分の2以上あること。

※初診日以降に納付した期間は、納付の条件に入りません。

※初診日が20歳前のときは、納付の条件はありません。

②障がいの重さが国民年金法による1級または2級に該当すること。

※身体障害者手帳の障害等級とは異なります。

◇障害基礎年金の年額（平成23年度）

【1級】986,100円（月額82,175円）【2級】788,900円（月額65,741円）

※18歳到達年度の末日までにある子（障がい者は20歳未満）がいる場合は、子の人数によって加算が行われます。

～東日本大震災被災による国民年金保険料の特例免除が 平成24年6月分まで延長されました～

○特例免除対象期間：平成23年7月分～平成24年6月分（平成23年度分）

○申請期限：平成24年7月31日

※現在特例免除を受けている人も、平成23年7月分から引き続き免除を希望する場合、申請が必要です。お近くの総合支所市民課で手続きをしてください。

【問い合わせ】

市民生活部国保年金課 年金医療係 ☎ 0220 (58) 2166
古川年金事務所国民年金課 ☎ 0229 (23) 1204

災害復興支援事業

テーマ『がんばれ宮城

復興に向けて』

青少年のための登米市民会議では、登米市民および登米市在住者を対象に、災害からの復興へ、気持ちをさらに前向きにするため、明るい音楽と講話を聞き、これからの頑張りを祈念するとともに、青少年が明るい希望に向かって健やかに成長することを願い、青少年文化講演会を開催します。

【日時】8月31日（水）午後6時30分開演

【場所】登米祝祭劇場 大ホール

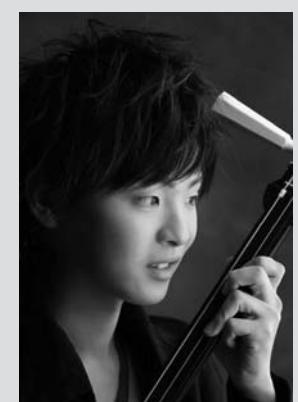
【内容】津軽三味線奏者の浅野祥さんによる講話と三味線演奏

【観覧料】無料（要整理券）※整理券が無くなり次第終了します。

【整理券配布場所】教育委員会生涯学習課（市役所中田庁舎3階）または各教育事務所

【問い合わせ】教育委員会生涯学習課 ☎ 0220 (34) 2698

または各教育事務所



▲津軽三味線奏者の浅野祥さん

青少年文化講演会を開催

市医療局職員を募集します

平成24年度採用の医療局職員を募集します。

【募集内容】

職種	採用予定人員	職務内容	受験資格
理学療法士	2人程度	市立病院などにおいてリハビリテーション業務に従事します。	昭和47年4月2日以降に生まれた人で、理学療法士の免許を有する人、または平成24年3月31日までに卒業する見込みの人で免許取得見込みの人。
管理栄養士	2人程度	市立病院などにおいて栄養管理業務に従事します。	昭和47年4月2日以降に生まれた人で、管理栄養士の免許を有する人
看護師	6人程度	市立病院などにおいて看護師業務に従事します。	昭和47年4月2日以降に生まれた人で、看護師の免許を有する人または平成24年3月31日まで取得見込みの人。

※長期勤続によるキャリア形成の観点から受験資格に年齢制限を設けています。

【試験方法】 小論文試験、人物試験、健康検査、資格調査

【受付期間】 8月1日（月）～31日（水）

※郵送の場合は、8月31日（水）消印までのものに限り受け付けます。

【試験日時・場所】 9月10日（土）午後1時～ 登米市民病院 会議室

【合格者の発表】 9月26日（月）

市役所迫庁舎前掲示場および医療局ホームページに受験番号を掲示し、受験者全員に郵送で通知します。

【申込書の請求】 申込書は、医療局経営管理部企画総務課に請求してください。郵便で請求する場合は、封筒の表に「理学療法士採用試験申込書請求」、「管理栄養士採用試験申込書請求」または「看護師採用試験申込書請求」と赤いペンで書き、あて先を記入して120円切手を貼った返信用封筒を必ず同封してください。

【申し込み・問い合わせ】

〒987-0511 登米市迫町佐沼字下田中25番地 医療局経営管理部企画総務課 ☎ 0220 (21) 6888

行政評価の外部評価を実施します

市では昨年度に引き続き、市が行う事務事業について、登米市行政評価委員会（外部委員10人により構成）において、市民の視点から評価をいただきます。評価は公開で実施します。

【実施日程および会場】

実施日	時間	場所
8月17日（水）	午前9時30分～午後3時10分	登米市消防防災センター
8月24日（水）	午前9時30分～午後3時40分	
9月2日（金）	午前9時30分～午後3時10分	

※時間については、おおよその目安ですので評価作業の進行によって、多少変更になることがあります。

【実施方法】 登米市行政評価委員会委員10人が2班に分かれて、3日間で50事務事業を評価します。

（外部評価のタイムテーブル）（1事業=30分程度）

○事業概要の説明（5分）

○質疑応答・議論（20分）

○評価・結果公表（5分）

【傍聴について】 傍聴は、会場のスペースが許す限り、どなたでもできます。事前の申し込みは不要ですが、受け付けをして会場に入場していただきます。なお、評価中の傍聴者からの質問は、受け付けできませんのでご了承ください。

【問い合わせ】 企画部企画政策課 ☎ 0220 (22) 2147



▲昨年の外部評価の様子。昨年は5人の行政評価委員会委員が30事業を評価しました。

教育相談

教育研究所では、経験豊かな専門のカウンセラーを配置し、学業・不登校・いじめ・子育て・性格行動など、お子さんにかかる悩みを抱えている人のために、教育相談を行っています。相談専用電話も用意しています。

一人で悩まず、気軽にご相談ください。

【カウンセラーによる教育相談日】

相談日		相談時間	
8月	25日（木）	①9:00～9:50	②10:00～10:50
9月	1日（木）、8日（木） 15日（木）、22日（木）	③11:00～11:50 ④13:00～13:50 ⑤14:00～14:50 ⑥15:00～15:50 ⑦16:00～16:50	

※平成23年10月以降の相談日は、後日お知らせします。

【相談場所】 市視聴覚センター2階「教育相談室」

【相談方法】 面接、電話 ※いずれの場合でも予約が必要です。

【相談料】 無料

【予約時間】 月曜日～金曜日（祝日を除く） 午前8時30分～午後5時

【相談専用電話】 ☎ 0220 (22) 8125

【予約先・問い合わせ】 市教育研究所 ☎ 0220 (22) 8029

子宮頸がんワクチン接種の初回接種の再開について

子宮頸がんワクチンについて、供給量が十分でなかったことから平成23年3月から初回接種者への接種差し控えをしてきましたが、供給量が確保できることとなりました。

助成接種対象者で接種を希望する人は、医療機関に予約の上、接種するようお願いします。

【助成対象者】

①中学1年生から高校3年生に相当する年齢の女子

②平成22年度高校3年生に相当する年齢で、平成22年度に無料券を送付された人

【助成期限】 平成24年3月31日（土）まで

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課 健康推進係 ☎ 0220 (58) 2116

8月の納税

市県民税	2期
国民健康保険税	3期
介護保険料	3期
後期高齢者医療保険料	2期

納期限 8月31日（水）

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

登米市の人団・世帯数 (平成23年6月末現在)

地区	世帯数	人口		
		男	女	計
迫	7,405	10,460	11,207	21,667
登米	1,840	2,537	2,809	5,346
東和	2,474	3,555	3,773	7,328
中田	4,738	7,898	8,287	16,185
豊里	2,046	3,345	3,485	6,830
米山	2,830	4,951	5,208	10,159
石越	1,604	2,700	2,805	5,505
南方	2,554	4,358	4,673	9,031
津山	1,218	1,829	1,977	3,806
合計	26,709	41,633	44,224	85,857

市内の交通事故発生状況 (平成23年6月末現在)

（佐沼・登米警察署調べ）

	H23	H22	増減数
人身事故 発生件数	128件	167件	△39件
死者数	2件	1件	1件
負傷者数	166件	224件	△58件
物損事故 発生件数	821件	646件	75件

（平成23年1月からの延べ件数）

●交差点付近での衝突事故や若年ドライバーの事故が多くなっています。運転するときは、事故を防止するため緊張感をもって運転に集中しましょう。

編集室から

▶東北地方の梅雨も明け、連日最高気温が30度以上の真夏日を記録するなど、夏本番がやってきました。市内の学校では、夏休みが始まり、学校のプールにはまつ黒に日焼けした子どもたちの元気な声が響いています。▶8月は夏祭りやお盆行事などで、外出する機会が多くなります。お出掛けの際は事故などに十分注意し、楽しい夏をお過ごしください。（猪股）



8月の普通救命講習会

【日時】 8月21日（日）
午前9時～正午
【場所】 消防防災センター
【申込期限】 8月15日（月）まで
【申込方法】 消防署・各出張所に備え付けてある受講申込書に必要事項を記入の上、直接提出または電話で申し込みください。
【問い合わせ】 消防署救急係 ☎ 0220（22）2119

障害者しごと相談

【相談日時】 8月23日（火）
午前 ①9時30分～ ②11時～
午後 ①1時30分～ ②3時～
【場所】 県東部保健福祉事務所 登米地域事務所（登米保健所）
【相談担当】 障害者就業・生活支援センター「ゆい」
【申し込み・問い合わせ】 障害者就業・生活支援センター「ゆい」 ☎ 0220（21）1011
福祉事務所生活福祉課

障害福祉係 ☎ 0220（58）5552
※この日以外でも相談を受け付けていますので、ご連絡ください。

夜間相談窓口開設日

納税に関する相談に応じます。
【日時】 8月25日（木）
午後8時まで
【場所】 市役所迫庁舎1階 総務部税務課 徴収対策係
【問い合わせ】 総務部税務課 徴収対策係 ☎ 0220（22）2169

終戦記念日に一斉黙祷を実施します

市では、戦争という悲惨な歴史を風化させることなく、戦争を知らない世代に平和の大切さを継承していく目的で、終戦記念日（8月15日）の正午に一斉黙祷を実施します。
【実施日】 8月15日（月）正午
【実施方法】 正午の防災無線のサイレン吹鳴を合図に黙祷を捧げます。

【問い合わせ】 福祉事務所長寿介護課 長寿社会係 ☎ 0220（58）5551

◇おわびと訂正
広報とめ7月21日号に誤りがありました。おわびして訂正いたします。
・登米市施設電話帳
迫にぎわいセンター電話番号
(正) ☎ 0220（21）5565
(誤) ☎ 0220（22）0020

多重債務者無料法律相談と多重債務110番の日

■多重債務者無料法律相談
【日時】 8月5日（金）、26日（金）
午後1時15分～4時15分
【場所】 迫にぎわいセンター
※事前に予約が必要です。
【担当弁護士・司法書士】
5日=佐竹孝行（司法書士）
26日=開発健次（弁護士）
■多重債務110番の日
【日時】 ▶8月8日（月）、22日（月）
午前9時～午後7時
▶8月21日（日）
午前9時～午後5時
※この日以外でも相談受付を行っています。
受付時間=午前8時30分～午後5時（土曜・日曜・祝日を除く）
【場所】 市役所中田庁舎2階
【相談料】 無料
【相談専用電話番号】 ☎ 0220（34）2308
【問い合わせ】 産業経済部商工観光課 商工業振興係 ☎ 0220（34）2734

震災に便乗した悪徳商法に注意を！

～悪質商法被害に遭わないための3か条～
1訪問販売員を家に入れない
2まずは家族・知人に相談、その場で契約しない
3キッパリと断る
相談は、#9110または最寄りの警察署へ

登米市民プール感謝祭を開催

【日時】 9月4日（日）
午前10時～午後5時
※終日無料で開放します。
○各種イベント
▶親子ビクス
【時間】 午前11時30分～午後0時30分
【定員】 10組
【内容】 親子で行うエアロビクス
【参加費】 500円
【対象】 3歳から6歳までの親子
▶サバイバルアクア
【時間】 午後1時30分～3時
【定員】 20人
【内容】 水中で行うエアロビクス
【参加費】 500円 **【定員】** 20人
【対象】 高校生以上
▶共通事項
【応募締切日】 9月3日（土）
※定員になり次第、締め切ります。
【申込方法】 参加費を添えて市民プール受付に直接申し込みください。
【問い合わせ】 市民プール ☎ 0220（22）5492

ご存知ですか？住環境リフォーム助成事業

市では、地域経済の活性化と市民の生活環境の向上を目的に、市内に本社機能がある事業所や個人事業者を利用して、自宅のバリアフリー化・省エネ化・防災対策を含むリフォーム工事を行う場合の費用の一部を助成しています。
また、リフォーム工事と一緒に下水道への接続工事を行う場合にも費用の一部を助成しています。
【対象住宅】 申請者または申請者の配偶者、もしくは1親等以内の親族が所有している住宅。ただし、店舗などとの併用住宅は個人住宅部分のみが対象となります。
【助成対象となる工事】 ※すべての項目に該当していること
①工事費が20万円（消費税を除く）以上で、市内の事業者によりリフォームを行なう場合
②工事費の10%以上がバリアフリー・省エネ・防災に対応していること
③リフォーム工事の完了検査が平成24年2月29日までに実施できること
【助成額】 工事費の20%で20万円を上限としています。
【下水道接続工事助成（リフォーム助成と併せて行なう場合）】
①対象工事は市内下水道指定工事店登録事業所が施工する工事
②助成費用は工事費の20%で、15万円を上限とする
※詳細については、広報とめ4月21日号（No.144）をご覧になるか、下記に問い合わせください。
【申請先・問い合わせ】
建設部住宅都市整備課 ☎ 0220（34）2316
建設部下水道課 ☎ 0220（34）2359

『精神保健入門講座』受講生募集

市では、こころの病気を理解し、こころの健康を大切に考える人の輪を広げながら、互いに支え合えるまちを目指していくため「精神保健入門講座」を開催します。

最近増えていると言われている「うつ病」をテーマにした研修内容になっています。ぜひご参加ください。

	開催日	内 容
1	8月30日（火）	・開講式 ・講話「こころの病気を知ろう」講師＝精神科医 小原可久先生
2	9月12日（月）	・話し合い ストレスチェック ・「自分の気持ちを見つめてみよう」 ・精神保健相談機関・窓口の紹介
3	9月22日（木）	・講話「気持ちを大切に伝えよう」講師＝臨床心理士 吉田香里先生
4	10月5日（水）	・話し合い「こころの健康のために、こんなふうに暮らしていこう」 ・閉講式（3回以上受講した人に、修了証を交付します）

※以前に精神保健入門講座を受講し、修了証を交付された人は申し込みできません。

【場所】 市役所南方庁舎2階 大会議室

【時間】 午前10時～11時45分

【対象者】 こころの健康づくりを応援したい人々
※先着20人

【申込方法】 電話

【申込期限】 8月19日（金）

【申し込み・問い合わせ】
市民生活部健康推進課 地域保健係
☎ 0220（58）2116

DUSKIN あなたの喜ぶ顔が見たい。 広告
暮らしを快適にするダスキン。
家族に代わってお手伝い
「介護のお手伝い」や「お食事づくり」など
お客様のお困りごとに応じます。
ダスキンあさのホームインステッド登米ステーション ☎ 0120-22-5199
〒987-0511 登米市迫町佐沼字江合1-5-1
フリーアクセス

保育所ちびっこランドロックシティ佐沼園 広告
園児募集
「信頼と実績」 全国600園以上の日本最大の保育所チェーン
入園要項
①対象……6ヶ月～6歳 ④保育時間…7:30～19:00
②一時保育…¥530～ ⑤保育日…年中無休
③月保育…¥29,930～ 兄弟割引あり※料金は年齢によって異なります。
お問い合わせお申込みは TEL.0220-44-4937 受付時間／年中無休 7:30～19:00
ロックシティ佐沼SC内（宮崎書店様隣り）登米市南方町新島前46-1

東日本大震災被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます 広告
まごころ込めてお手伝いいたします
44th Anniversary (株)国分や葬祭店
経済産業大臣認可 全葬連 宮城県葬祭業協同組合加盟店
http://www.zensoren.or.jp/ http://www.miylg-sougi.com/
提携協力団体 / COOPみやぎ生協・JP日本郵政グループ労組・宮交共済会・JAM・勾当台クラブ・etc
[本社] ☎ 42-2105 ◆米谷店ショールーム ☎ 53-2323 [登米店] ☎ 52-3906

東日本大震災被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。 広告
がんばろう宮城！がんばろう登米市!!
飲んだ帰りは“ヤマト”へお任せ下さい!!
YAMATO 安全運転でお届けします
宮城県公安委員会認定第236号
ヤマト運輸代行 ☎ 0220-22-5559 携帯 090-4313-4915

一人で悩まずに相談を

8月の「こころの相談」

- 眠れない、気分が落ち込む、イライラする
- 家庭や職場、学校などで対人関係がうまくいかない
- 人との付き合いがあっくうだ
- お酒がやめられない
- 物忘れが気になる、認知症による問題行動でどうしたらいいか分からない
- 精神疾患を抱えている本人や家族、関係者など

相談は無料で、秘密は守られます。

また、事前に申し込みが必要です。※居住地以外のところでも相談できます。

地区	日(曜)	場所	担当	申し込み電話番号
迫	4日(木)	迫保健センター	臨床心理士	☎ 0220(22) 5554
登米	9日(火)	登米総合支所	精神科医師	☎ 0220(52) 5054
豊里	12日(金)	豊里公民館	精神保健福祉士	☎ 0225(76) 4113
南方	23日(火)	南方保健センター	精神科医師	☎ 0220(58) 2113
津山	16日(火)	津山ふれあいセンター	精神科医師	☎ 0225(68) 3114

不明な点は、各総合支所市民課 健康づくり係まで問い合わせください

8月の休日当番医・歯科休日当番医

月 日	休日急患当番医			歯科休日当番医		
8/7(日)	市立米谷病院	東和町	☎ 0220(42) 2007	水の里歯科医院	東和町	☎ 0220(42) 3715
14(日)	上杉皮膚科医院	迫町	☎ 0220(21) 1380	安藤歯科医院	迫町	☎ 0220(22) 0811
21(日)	八嶋中央診療所	石越町	☎ 0228(34) 2013	中田歯科診療所	中田町	☎ 0220(34) 4148
28(日)	あおたあおたにクリニック	中田町	☎ 0220(35) 1161	王歯科医院	南方町	☎ 0220(58) 2722
○診療時間 9:00~17:00			○診療時間 9:00~17:00 【問い合わせ】※月曜~金曜日(休日を除く) 市民生活部健康推進課 ☎ 0220(58) 2116			
○休日・夜間診療案内 ☎ 0229(24) 2267 (24時間)						

※当番医は、変更になることがあります。各医療機関に確認の上、受診してください。

お気軽にご相談下さい
新しい優しさを目指して
人と環境への

株式会社清建
環境プロバイダ
TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980
仙台(営) / 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目9-7 さくらビル2F
南三陸(営) / 〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313
TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122
URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp

有限会社清建物流
TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658
本社 / 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3

有限会社リースキン宮城
TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495
TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728
厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所
はさま看護婦・家政婦紹介所
すずらん託児室
TEL.0987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)
TEL.0220-22-7755

母子健康手帳の交付と
妊産婦相談毎週月曜日
8:30 ~ 11:30

母子健康手帳は原則として、住所地の総合支所市民福祉課健康づくり係で交付します。

子ども夜間安心コール

急な発熱やケガなどで困ったときに、応急処置などの対応方法を看護師が電話で相談を受け付けています。
○電話番号
8000
(ブッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
022 (212) 9390
(ブッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
○相談日時
毎日 19:00~23:00

当院の歴史は古く、代々医師を職業としています。私が医業を継承し、七代目となつております。現在地での開院は、江戸時代中期と言われています。日々の診療において、いろいろなこ

昔から変わらず、この地で診療を継続しております。私が医業を継承し、七代目となつております。現在地での着型のホームドクターの役割を担つていると認識しております。

診療雑観



小澤 道孝 医師

とめしの
お医者さん
No20

市内には、市民の『かかりつけ医』として地域の医療を支え、医療の現場で活躍している医師がいます。今月号では、長年地域に根差した医療を実践する医師が、日々の診療において感じたことを紹介します。

とを患者さんに提案しておりますが、禁煙を勧めても、タバコは人生の道具と：節酒を勧めても、酒は百葉の長い間あります。当院の様な診療所にも、現在百歳以上の方が7名通院しております。百三十歳も夢ではないと考えております。百三歳も夢ではないと考えます。自分の身は自分で守るという考え方もあります。

なお、今度の大震災後、多くの被災者が県内外より当地に来ております。また、逆に当地より、北海道や山形にて手術を受けた方がおります。より広域的なネットワークの構築が必要と考えております。

■小澤医院のデータ■

住所：米山町中津山字明神前16-1
電話：0220(55) 2552
診療科：内科、小兒科
診療時間：午前 8:00 ~ 12:00
午後 1:30 ~ 5:00
休診日：土曜午後、日曜日、祝祭日
※臨時休診もありますので、事前に電話で確認してください。

【問い合わせ】市民生活部 地域包括医療推進室
☎ 0220(58) 2118

大切な“いのち”を守るために
献血にご協力ください

8/6(土)	ロツクシティ佐沼 シッピングセンター ※骨髄バンクの登録も受け付けています	10:00~12:00 13:00~17:00	全 血
19(金)	米山農村環境改善センター みやぎ生協加賀野店	10:00~11:30 13:30~16:30	全 血
25(木)	南方総合支所	10:00~12:00 13:00~14:00	全 血

【問い合わせ】市民生活部健康推進課 健康推進係
☎ 0220(58) 2116

登米いのちホッとテレホン
毎月1日は登米「いのちを育む日」
はなそうとめ
0120(870)108

登米いのちホッとテレホンは・・・
○24時間いつでもかけられます。
○名前を名乗る必要はありません。
○特定の宗教や思想、政党とは関わりありません。
○電話相談員は、2年間の研修を終了し、認定された人たちです。
○固定電話のほか携帯電話・PHSからご利用いただけます。

～登米市地産地消推進店～

登米産牛、大泉ポークでしゃぶしゃぶ宴会を

株式会社
剃烹くまがい

■本社 / 登米市中田中学校通り TEL.0220-34-5002(代)
■総合センター / 中田総合支所通り TEL.0220-34-8707
■花泉営業所 / 一関市花泉町駅前通り TEL.0191-82-2946

せいかしゃ
誠香社
24時間電話受付
34-4856(代)

とよま蔵ジアム前「最大200名様可」
～葬祭ホール～
せいか苑
中田府舎前「80名様可」
～葬祭会館～
せいか苑
中田総合支所通り「100名様可」
～葬祭ホール～
せいか苑西ホール
TEL.0220-34-8933 TEL.0220-34-6711
祭壇大小+葬具一式/200,000円(光熱費別途)
自宅葬も同じ値段です。
福禮葬儀一式15万円、自宅祭壇も同じ料金です。(生活保護世帯対象)

「登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています」



No.151

広報とめ

発行日 平成23年8月1日

発行 登米市

編集 総務部市長公室 広報広聴課 印刷 川内印刷株式会社

☎ 0220-22-2090 E-mail : koho@city.tome.miagi.jp

fax 0220-22-9164 http://www.city.tome.miagi.jp/

豊里地区
パークゴルフ協会 会長
ひで かず
及川 英一 さん
パークゴルフは、健康の増進、地域の親睦交流を図るのには一番のスポーツと考えています。皆さんもぜひパークゴルフを始めてみませんか。会員一同参加をお持ちしています。

【問い合わせ】
会長 及川英一 宅
☎ 0225 (79) 3077



また、各種大会を開催するなど、健康維持のため、楽し活動を行っています。

パークゴルフは、男女問わず誰でも気軽に楽しめるスポーツで、コースには必ず1打でグリーンに届くホールがあり、カップも大きいので、1ゲームごとにホールインワンのチャンスもあります。

会員数は、豊里地区内にとどまらず米山・津山地区からも加わり現在80人が加盟しています。

豊里地区
パークゴルフ協会
(豊里)

スマイルライフ

イキイキと活動している、サークル・団体を紹介します!!

26

おいしい! 楽しい! 米粉クッキング 15

Komeko Cooking

かぼちゃロールケーキ

【考案者】 遠藤 紗子さん（中田）

◆材料【35cm×35cm の天板 1枚分】

ケーキ用米粉……120g 砂糖……………120g
卵黄……………5個分 卵白……………6個分
塩……………少々 牛乳・食用油… 80cc
煮カボチャ……100g 生クリーム… 200cc
グラニュー糖……10g

◆作り方

- ①ポールに卵黄と砂糖1/3、牛乳、食用油、ケーキ用米粉を加えしっかり混ぜる。
 - ②別のポールに卵白、塩少々を入れて混ぜ、残りの砂糖とカボチャ1/2を加え混ぜる。
 - ③①のポールに②のメレンゲを1/2入れ、混ぜたら残りのメレンゲを入れる。
 - ④天板に③を流し入れ、160℃に熱したオーブンで15分程度焼く。
 - ⑤生クリームにグラニュー糖とカボチャを加え泡立てた後、生地に塗り巻く。
- 【ホームページでそのほかのレシピも紹介しています】

2011 復興へ頑張ろう！登米市

~~石森章太郎ふるさと記念館~~

夏祭り & 石森復興市

【日 時】 8月20日(土) 午後3時～午後9時

【場 所】 石ノ森章太郎ふるさと記念館駐車場

石ノ森章太郎ふるさと記念館では、今年も夏の風情を感じる夏祭りを開催します。復興祈願のおみこしやよさこいなど楽しいイベントが盛りだくさんです。ご家族でお気軽にお越しください。

【内容】

- ◎復興祈願「おみこし」練り歩き
- ◎仮面ライダーよさこいバージョン フェスティバル
- ◎盆踊り
- ◎スコップ三味線バンド演奏
- ◎夏祭り「出店」
- ◎豪華景品が当たる お楽しみ大抽選会など

【問い合わせ】

石ノ森章太郎
ふるさと記念館友の会事務局
(石ノ森章太郎ふるさと記念館内)
☎ 0220 (35) 1099



▲▼昨年の夏祭りの様子



モバイルとめ
(携帯電話版ホームページ)

<http://www.city.tome.miagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス
(防災や防犯、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします)

<http://tomecity.mail-dpt.jp/>